

北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第907号 平成27年4月2日

生涯学習の見本

タレントの萩本欣一氏は、今年の4月から駒沢大学の学生となるそうです。御年73歳にして大学で学ぼうというのは、大変素晴らしい事です。

勉強し直したいという思いは私にもありますが、なかなか行動に移せないというのが実態ですので、73歳という高齢でありながら、大学生として新しい人生をスタートさせようという萩本氏の決断と行動力に頭が下がります。

萩本氏は昨年3月に大舞台から引退し、4月から受験勉強し、今年1月の英語、小論文、面接という入学試験を突破したといえますから、彼の勉学への思いはホンモノといって良いでしょう。

萩本氏は「認知症対策のつもりで勉強した。本当に嬉しい。大学には一日も休まずに行く。野球部にも入りたい」と話しているそうです（2月27日付朝日新聞から）。萩本氏が野球部に入部すると言っていますが、野球部員の戸惑う顔が目に見えます。萩本氏には、せいぜい怪我をしないように楽しんで欲しいと思います。

私の知人の中にも、私よりはるかに年上なのに小樽商科大学大学院で学んだ方がいて、その方の勉学への飽くなきエネルギーに心から敬服しています。

生涯学習は、「学びたいという人」と、「学べる場所」があって初めて成立するものです。

生涯学習に関する意識調査（平成25年度）によると、生涯学習の必要性を感じている人は95.6%に及んでおり、約7割の方々が実際に生涯学習を行っています。

その一方で、約3割の方々は、学習環境が整っていないと感じており、提供されている学習のテーマに関しても、4割を超える人は環境問題やまちづくり等の現代的課題や社会的課題が少ないと感じているようです。

高齢化が進む中で、元気で知識欲も旺盛なお年寄りが沢山いますので、萩本氏が大学に入学したというニュースに触発されて、生涯学習に関心を待たれる方が増えるのではないかと期待されます。

また、大学の場合は聴講制度というものもありますが、それだけではなく萩本氏のように大学生として若い人と一緒に学びたいという高齢者もいますので、そうしたニーズの高まりに応えられるよう、高齢者の受け入れについて柔軟に対応してい

ただければと思います。

萩本氏は「認知症対策のつもりで勉強した」との事ですが、「認知症対策」という事であれば、私も他人事ではありません。大学で学び直しというのにも確かにありだなと、真剣に考えているところです。萩本氏の年齢まで、まだ5年ありますので、その間にどうするか考えます（このように、今直ぐやらないのが、私の欠点だと分かってはいるのですが…）。

萩本氏は、4月から仕事と学業という二足の草鞋を履いた生活になりますが、バイタリティ溢れる彼の事ですから、きっとやり抜く事でしょう。（塾頭：吉田 洋一）